

はじめに

子どもには、周囲の人々の笑顔を生む不思議な力があります。この子どもが成長していく10年後、20年後に社会はどのように変化していくのかを考え、子どもが幸せに暮らせることはもとより、子育ての主役である保護者が安心して子育てができるよう、地域社会全体で子どもの健やかな成長を支えることが必要です。

本市では、子どもの医療費助成の対象年齢拡大や、一時保育、休日保育、病児病後児保育といった特別保育事業にいち早く取り組むなど、積極的に子育て支援を実施してまいりました。平成27年度からは、「第1期安城市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育て世代包括支援センターや、子ども発達支援センター「あんステップ♫」の整備など、更なる子育て施策の充実を図ってまいりました。しかしながら、核家族化の進行や共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化など、子育て家庭を取り巻く環境の変化により、低年齢児保育や、児童クラブの利用を希望する家庭が増加しており、受け入れ体制の整備が急務となっています。

このような状況を踏まえ、第1期計画から掲げてきました「幸せと未来をつなぐ子育てのまち・安城」の理念を引き継ぎ「子どもの最善の利益が確保されること」、「保護者に寄り添い、保護者も成長すること」、「子育て家庭を支援する環境を整備すること」の3つの視点に立ち、地域社会全体で子育てすることを目指し、「第2期安城市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

次世代を担う子どもが、いつまでも住み続けたいなるまち、住み続けられるまちとなるよう、引き続き、この計画に基づく様々な施策に取り組んでまいります。

最後になりますが、計画策定にあたりまして、多大なご協力を賜りました子ども・子育て会議の委員、貴重なご意見をお寄せいただきました市民や関係団体の皆様に心よりお礼申し上げますとともに、今後も一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



安城市長 神谷学

